

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月7日 (2012.6.7)

【公表番号】特表2011-523653(P2011-523653A)

【公表日】平成23年8月18日 (2011.8.18)

【年通号数】公開・登録公報2011-033

【出願番号】特願2011-511943(P2011-511943)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 K 39/002 (2006.01)

A 6 1 K 39/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/16 (2006.01)

A 6 1 P 33/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2006.01)

A 6 1 K 39/145 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/00 G

A 6 1 K 9/127

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/002

A 6 1 K 39/02

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/00 K

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 31/04

A 6 1 P 31/10

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 31/16

A 6 1 P 33/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 39/39

A 6 1 K 47/44

A 6 1 K 39/145

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月6日 (2012.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- (a) 抗原；
- (b) リボソーム；
- (c) p o l y I : C ポリヌクレオチド；及び
- (d) 疎水性物質の連続相を含む担体

を含む、組成物。

【請求項 2】

p o l y I : C ポリヌクレオチドが R N A 又は D N A を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

p o l y I : C ポリヌクレオチドが R N A 及び D N A を含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

p o l y I : C ポリヌクレオチドがホモポリマー又はヘテロポリマーである、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

p o l y I : C ポリヌクレオチドが、ホモポリマー性 p o l y I : C ポリヌクレオチド及びヘテロポリマー性 p o l y I : C ポリヌクレオチドを含む、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

組成物を製造するための方法であって、前記方法が、任意の順序で：

- (a) 抗原；
- (b) リボソーム；
- (c) p o l y I : C ポリヌクレオチド；及び
- (d) 疎水性物質の連続相を含む担体

を結合する段階を含む、方法。

【請求項 7】

前記抗原が前記リボソームに封入されている、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記 p o l y I : C ポリヌクレオチドが前記リボソームに封入されている、請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 p o l y I : C ポリヌクレオチドが前記リボソームの外側に付加されている、請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 6 から 9 のいずれか一項に記載の方法に従って調製された組成物。

【請求項 11】

請求項 1 から 5 及び 10 のいずれか一項に記載の組成物を含む、医薬組成物。

【請求項 12】

被験体において前記抗原に対する抗体応答及び / 又は細胞性免疫応答を誘導するための、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

細菌、ウイルス、真菌、寄生虫、アレルゲン、又は抗原を発現する腫瘍細胞により引き起こされる疾患の治療及び / 又は予防のための、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

治療及び／又は予防が、被験体において抗原に対する抗体及び／又は細胞性免疫応答を誘導することを含み、前記被験体がウイルス感染しているか、又はウイルス感染を発症するリスクのある、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

ウイルス感染がインフルエンザウイルス感染である、請求項 14 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

治療及び／又は予防が、被験体において抗原に対する抗体及び／又は細胞性免疫応答を誘導することを含み、前記被験体が癌であるか、又は癌を発症するリスクのある、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

神経変性疾患の治療及び／又は予防のための医薬組成物であり、前記神経変性疾患が抗原の発現に関連している、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

神経変性疾患がアルツハイマー病である、請求項 17 に記載の医薬組成物。

【請求項 19】

被験体において対照組成物により誘導される応答と比較して少なくとも 1.5 倍高い免疫応答を誘導する、請求項 11 から 18 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 20】

被験体において対照組成物により誘導される応答と比較して少なくとも 5 倍高い免疫応答を誘導する、請求項 19 に記載の医薬組成物。

【請求項 21】

鼻腔、中咽頭、眼球、経口、直腸、舌下、尿生殖器粘膜、鼻腔内、中咽頭、気管内、肺内、経皮、肺内外、動脈内、皮内、筋肉内、腹腔内、静脈内、皮下又は粘膜下の経路を介して投与される、請求項 11 から 20 のいずれか一項に記載の医薬組成物。